

■賑わいのある地域

長沢自治会

米山 福吉 会長



日ごろから、長沢地域の皆様には自治会活動に際しまして、ご協力いただき有り難うございます。この度、長沢自治会会長

の大役を仰せつかりました。

前会長の末吉一夫様には長きに渡り、ご尽力いただきありがとうございました。

私も末吉会長が築きあげてきた「安全で、安心な、賑わいのある地域」を元に、各行政と連携を図り、多摩防犯協会末吉一夫会長・多摩防火協会岸井洋一会長のお二人が当自治会に居りますので専門的なご指導をいただき。また、班長・理事・役員、関係団体の皆様のご協力をいただきながら、「令和」元年をお祝いすると共に会員の絆をさらに深め「安全で安心な地域の向上と発展のある長沢自治会」になるように気を引き締め頑張りたいと思っています。



■皆様こんにちは、新元号

長沢まちづくり協議会

末吉 一夫 会長



令和元年を迎えられましたこと大変喜ばしく皆様と共にお祝いを申し上げます。

私、昭和、平成、そして、令和を迎え

ることができ、長沢地域の変動、移り変わりに驚きを感じております。昭和30年代には畑、田んぼ、山と緑一面な地域が、40年代には県立生田高校が開校、新しい住宅ができればじめ、50年代には県立百合丘高校、長沢小学校、南生田小学校、長沢中学校、南生田中学校が開校し、平成になりバス路線が充実し、長沢地域が活性化され、令和の時代を迎えることができました。

このように地域の皆様が協力し合い、地域づくりに取り組まれた結果と思います。

今後とも皆様と共に「にぎわいのある地域づくり」に尽くしていきたいとよろしくお願い申し上げます。



『ながさわ』の未来を語る

■長沢団地会の現況

長沢団地会 黒須 立夫 会長



新元号令和を迎えるにあたり、当団地会の歩みを振り返ってみたいと思います。令和2年6月1日には創立50年を迎えます。昭和45年に当時の長沢自治会より分離独立し会員数250世帯で発足、現在は会員数500世帯となり、近年新規入会の方が増加しています。子供達にここがふるさとと思える様にながさわ地域各団体が取り組み活性化を目指しており、その一端を担っています。先輩諸氏の努力の結果、平瀬川の鮎の遡上と様々な水鳥の飛来があり心とむひと時があります。9月には諏訪社祭礼があり、子供達の思い出にと会員の皆さまと汗を流したいと考えています。

■安心して暮らせる地域社会

長沢長生会 根本 政夫 会長



高齢社会を迎え、寝たきりや一人暮らしの高齢者が増加しつつある今日、老人クラブでは、長沢地区で誰もが自分らしく安心して暮らすために『な』なかまを広げて健康づくりと生きがいの受け皿とな

って地域コミュニティを活性化します。

『が』学習と永年培った知恵や経験を活かして長沢自治会を始め地域の諸団体と協働してムリなくできることを積極的に推進します。

『さ』さわやかな長寿社会を目指し健康・長寿に努め本会の更なる存在を地域社会に発信します。

『わ』わたくしたちは誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します。

■神社は地域のつながり

長沢諏訪社 岸井 洋一 総代



都市化している現代において、神社は人々を集める力があり、そんな役割があります。

お宮について日頃あまり意識することがなくても、初詣や秋祭り、七五三のお宮参りなど、われわれの日常に神社は寄り添っています。神様は一人ひとりの心のなかであって、人びとを集めるパワーがあり、諏訪社は、地域のコミュニティの場です。

創建は、文治3年(1187年)源頼朝の命によりと記録されています。実に800年以上も氏子を中心に守ってきました。

令和の時代、さらに次の時代へと大切に守り続けていく仕組みをつくりたいと思っています。

■まちづくり

昭和(9)ひとけた生れのつぶやき

長谷川 武リポーター

「あたりまえ」を「ありがたい」というのが感謝。
「羨ましいなあ」を「自分にはオンリーワンの自分らしさがある」というのが平穩。



「きっと今日もいつもの一日」を「今日は人生において一度きり」というのが成長。
「全てをうまくやる」を「時にはこんなこともあるさ」というのが余裕。
「だからなに」を「おめでとう」というのが賞賛。
「どうでもいい」を「もしかしたら面白いかも」というのが一歩。
「もうダメだ」を「これからだ」というのが希望。

■地域の皆様に感謝

長沢商店会 原山 修 会長



長沢地域の皆様、毎度私達の商店会をご利用いただき誠にありがとうございます。緑が多く明るく優しい町で、自治会を始め、各団体や地域の皆様のご支援をいただき、商売が出来る事を心より感謝申し上げます。

地下鉄が通る10年後にも明るく元気な長沢商店会を続けていきたいと考えていますが、そのためにも会員の皆様が屋号や伝統を大事にしながら、それにこだわらない新しい商品やサービスの開発を共に創っていかなければならないと思っています。

今後とも長沢商店会をよろしくお願いします。

■人との関わりを大切にする

東百合丘町会 松澤 武雄 会長



平成最後の年度を振り返りますと、盆踊大会、ミカン狩り、どんど焼き、そしてバスを利用しての一日防災研修を実施しました。

人と人のかかわりが希薄になりつつある昨今です。町会の活動を通して近隣の人達と知り合い、挨拶を交わし親しくなれたらと考えています。

今後も、人と人を繋げる活動を計画し皆が支え合うような街づくりを推進して行きます。

『ながさわ』の未来を語る

(宮前区)長沢自治会

■将来性のある長沢地区

長沢自治会 齋藤 英男 会長



元号で3番目に長い平成も終わり、令和という新しい時代が今はじまりました。

新元号の令和には、穏やかで人々が美しく心を寄せ合うという意味が込められているといえます。

新しい時代を迎える長沢地区は、近年宅地造成によって若い世代が急増し、宮前区のベッドタウンになるのではという勢いです。

それも、聖マリアンナ医科大学病院を基にJR線又は私鉄等につながるバス路線が充実している利便性の証ではないかと思えます。

今後、長沢地区は益々若い世代が増え続ける中、伝統行事も継承しつつ安全で安心して暮らせる魅力ある地域になります。

■次世代へつなげる

長沢歳歳会 石垣 定雄 会長



新元号「令和」は、はじめて日本の古典から選定されました。日本の歴史、文化、四季折々の美しい自然を次の時代へ引き継ぎ、春の訪れを告げる梅の花のように明日への希望が満ちあふれた日本であらいたいとの願いが込められているとのことです。

私たちも先輩方から、長沢の自然、文化、歴史を引き継ぎ守ってきました。十分ではなかった部分もあるかも知れませんが、次の世代へとバトンを渡していきたいと思っています。

長沢のよいところは残し、若い人たちの感性で「令和」にあった長沢をつくりあげてほしいと願っています。

つながる新聞 発刊の思い

■新聞販売店の役割

ASA南生田 原山 昇 所長

地域を走り回る私たちの役割は、防犯の意味も含めての「見守り活動」と新聞販売店だからできる「情報発信」だと思っています。この「つながる新聞」が地域の人たちにとって、少しでもお役に立てれば幸いです。

「令和」の時代もよろしく願います。

■令和を迎えて

高橋工務店 高橋 秀一 代表



弊社は昭和の時代に父が初代として工務店を開業しました。そして、平成になって私が2代目を襲名いたしました。

さらに令和では3代目を中心に少しでも皆様に役立つ情報を発信して行きたいと思えます。

➡平成を振り返る

西暦	和暦	できごと
1989年	平成元年	[1月8日] 平成に改元 [4月1日] 消費税開始(3%) [11月10日] ベルリンの壁が壊される
1990年	平成2年	[10月3日] 東西ドイツ統一
1991年	平成3年	(1月)湾岸戦争勃発(～2月) (12月)ソ連崩壊 バブル経済崩壊
1993年	平成5年	(5月)Jリーグ開幕
1995年	平成7年	[1月17日] 阪神淡路大震災(M7.3)発生 [3月20日] 地下鉄サリン事件
1997年	平成9年	[4月1日] 消費税が5%となる
1998年	平成10年	(2月)長野オリンピック開催
1999年	平成11年	[9月30日] 東海村JOC臨界事故
2000年	平成12年	(6月)三宅島噴火
2001年	平成13年	(3月)USJ開業 [9月11日] アメリカ同時多発テロ
2005年	平成17年	[4月25日] JR福知山線脱線事故 愛知万博開催(3/25～9/25の185日間)
2007年	平成19年	(5月)長沢まちづくり協議会設立
2008年	平成20年	(9月)リーマンショック
2011年	平成23年	[3月11日] 東日本大震災(M9.0)発生
2012年	平成24年	(5月)東京スカイツリー開業 [12月24日] 第1回長沢音楽祭開催
2014年	平成26年	[4月1日] 消費税が8%となる
2016年	平成28年	[4月16日] 熊本地震(M7.3)発生
2018年	平成30年	[6月18日] 大阪府北部地震(M6.1)発生
2019年	平成31年	[4月1日] 新元号「令和」を発表

令和の時代へ➡

令和

「れいわ」新元号万葉集から
本日 五月一日より改元

「令和」(れいわ)の典拠

■出典

「万葉集」巻五梅花の歌三十二首

■引用文

初春の月、気淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香

■書き下ろし文

初春の「令」月にして、気淑く風「和」き梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。

■現代語訳(中西進著「万葉集」から)

「時あたかも新春の好き月(よきつき)、

空気は美しく風はやわらかに、

梅は美女の鏡の前に装う

白粉(おしろい)のごとく白く咲き、

蘭は身を飾った香の如きかおりを

ただよわせている。」

頭の体操 イラスト まちがい探し

左右のイラストで違いがあります。
違いの数をお答えください!!

リニューアル No. 2
難易度 ★★☆☆☆



*イベント大好き、楽しいことが大好きな町の工務店からの出題です。印刷のヨレ・シミは、違いには入りません。みんなで楽しむゲームということをご理解ください(イラストが小さくすみません)。

▶前号の回答→黒い犬

問題

「黒い犬」・「赤い犬」・「白い犬」の3匹の中で、
おとなしくて全然吠えない犬は?



回答
「黙」という漢字が「黒」と「犬」でできているから!

正解者には、粗品(クオカードなど)を進呈しました(ハハ)

毎号応募をいただきありがとうございます。
はじめての方もぜひ、挑戦してください。応募回数によって、楽しい企画も考えています。
当選者は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

答えの分かった方は・・・下記まで(答え・お名前・住所・連絡先)をお知らせください。
正解者から抽選で若干名様に粗品を進呈!!

*締切 5/15

提供: ASA南生田/高橋工務店

TEL.044-977-2348

FAX.044-975-0836

編集後記

いつも「つながる新聞」をご笑覧いただきありがとうございます。
でございます。

本誌の発刊は2014(平成26)年8月で、今年で5年になります。

ほぼ月1回、長沢地域の情報を気ままに発信している情報誌です。

次世代に「つなげる」!人々を「つなげたい」という気持ちから「つながる新聞」とネーミングしました。

そんな思いから、長沢の先輩方からご寄稿をいただき、長沢の過去、そして、未来を語っていただきました。

本誌が「令和」という新しい時代を迎え、何かを残し、そして、何かを伝えられれば幸いです。

「つながる新聞」編集

高橋 弘幸

「情報提供」

ASA南生田

TEL.976-0540

までお願いします。



らぶながさわ